

ごみ行政について

新世紀の会 西野 修平



質問↓新ごみ処理場建設について、

本来不必要な民間の産廃施設を二十七億円もかけて取得するとの事、この件について「津山ブ

ロックごみ処理広域化対策協議会」に説明され、了承を得ているのか。また、広域でのごみ減量化及び、リサイクルの協議やすり合わせはどのようになっているのか。綾部地区は隣接地区住民の同意等、本来ごみ処理場の適格要件を満たしていないのではないかと。

答弁↓「津山ブロック協議会」では隣接地の取得の必要性等について報告し、基本的に了解を得ている。平成十五年に「津山・英田圏域一般廃棄物処理基本計画」を策定し、ごみ処理の現状や将来予測をし、減量化等目標値を定めて平成二十二年度において平成九年度比五％削減、リサイクル率二十七％向上、最終処分率は六％まで削減する計画である。また、協議会は平成十年より役員会、総会、担当課長会議を計四十八回行っている。綾部は引き続き未同意地区の理解を求めるよう努める。

ドクターカーの常設配備を！

新風会 北本 周作

質問↓津山中央病院で試行されているドクターカーを医療体制充実のためにも常設配備を！

答弁↓十分な救命措置が可能となるドクターカーは現在週二日運用中であり重篤な患者への出勤実績もある。常設配備にはワークステーションの建設、高規格救急車の導入、さらに人件費などでかなり高規負担となる。また、救急救命士を十人程度と医師の確保も必要となり、当面は試行運用を継続の予定である。しかし、常設配備の必要性は十分に認識しており、消防と関係行政機関、病院などと調整を図り、導入に向け研究していきたい。



行政サービスの充実とスリム化に向けて

新世紀の会 竹内 靖人



質問↓平日、休みの取れない市民のために土・日開庁を行い、窓口利用など、市民サービスの向上に取り組みな

か。答弁↓閉庁時の業務は庁舎管理や人件費、また安全対策などの経費が必要でサービス水準をどこに置

くか費用対効果の検討が必要。玉野市は新年度より第一日曜日に開庁をするとの事で、これら他市の例も参考に、最小の経費で最大の効果を上げる方策を研究していきたい。

質問↓現在は各部に政策審議室という部署があるが、統一・一本化を図り、機構の整理連絡システムの簡素化、再編に取り組んではどうか。また、各部が一体となった政策や事業づくりに取り組み、審議のワンテーブル化を行う必要はないか。

答弁↓新しい総合計画では新生津山市にふさわしい組織機構の見直しが必要と考えている。現在の「政策審議室」や、「街づくり政策を総合的に推進する部署」など大きな課題。各部で組織見直しについて検討し、出来るだけ早い時期に組織機構の見直しを進めていきたい。